

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第41週の発生動向

トピックス

・風しん(全数把握対象疾患)の報告が1例あった。宮崎市保健所管内からの報告で、50歳代男性、ワクチン接種歴は不明、推定感染地域は東京都である。

全数報告の感染症 (41週までに新たに届出のあったもの)

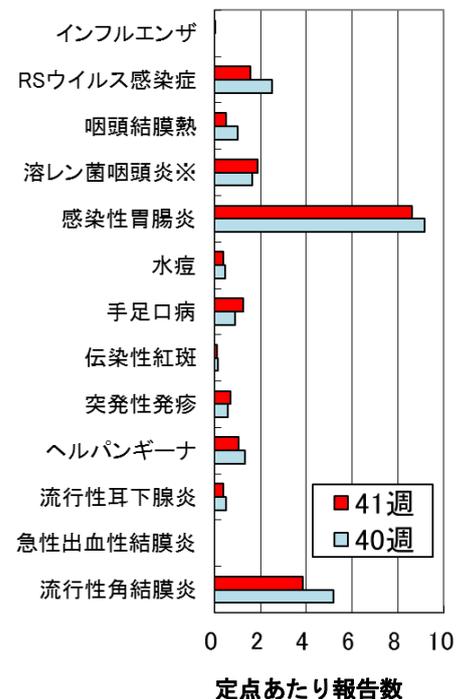
1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、百日咳3例、風しん1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	90歳代	男	結核性胸膜炎	食欲低下
		高千穂	80歳代	男	結核性胸膜炎	胸水貯留
5類	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	ショック、DIC、軟部組織炎
	百日咳	延岡	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			5~9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		日向	5~9歳	男	—	持続する咳
風しん	宮崎市	50歳代	男	—	発熱、結膜充血、発疹、リンパ節腫脹、関節痛・関節炎	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は601人(定点当たり20.4)で、前週比87%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とRSウイルス感染症である。

《前週との比較》



★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

報告数は301人(8.6)で、前週比94%と減少しているが、例年同時期の定点当たり平均値*(7.3)の約1.2倍である。小林(15.3)、都城(12.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~4歳が約6割を占めている。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

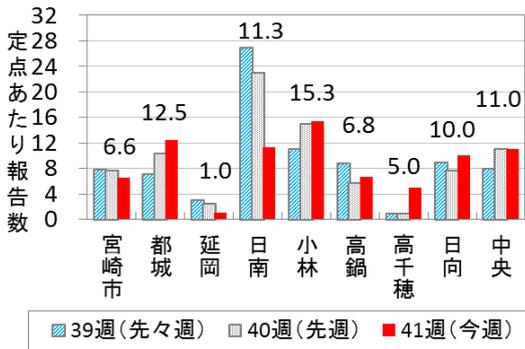
報告数は65人(1.9)で、前週比112%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約1.6倍である。延岡(3.5)、日向・中央(各3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は3~5歳が約5割を占めている。

【ヘルパンギーナ】

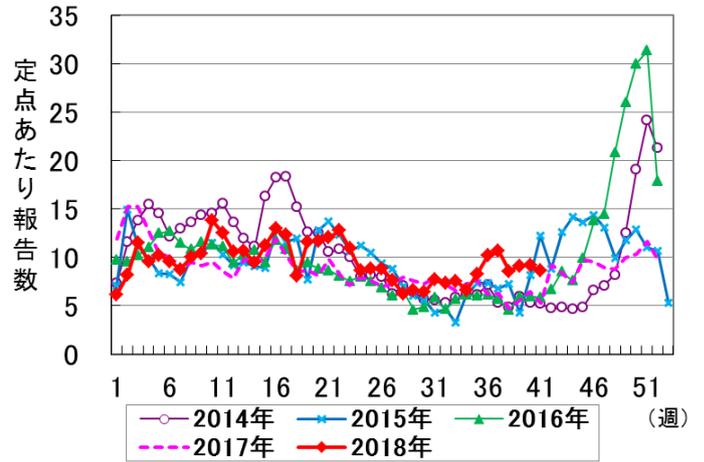
報告数は37人(1.1)で、前週比81%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.62)の約1.7倍である。延岡(3.3)、中央(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~3歳が約8割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

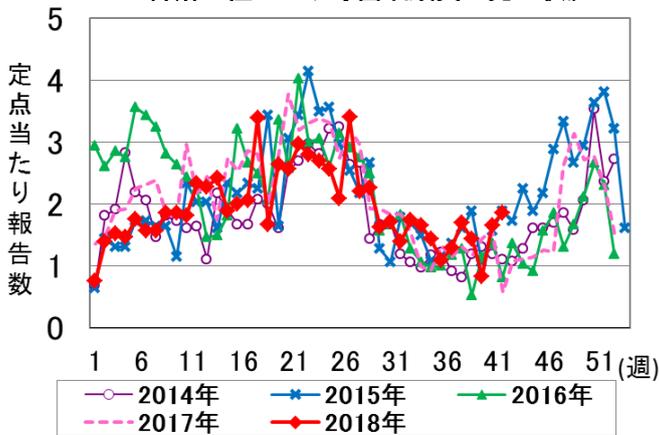
感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



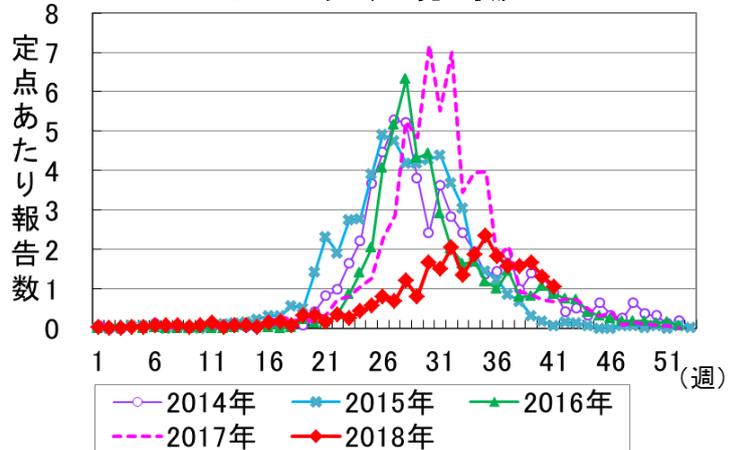
感染性胃腸炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



ヘルパンギーナ 発生状況



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：宮崎市保健所から1例報告があった。0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	水痘(2.3)
高鍋	なし
高千穂	水痘(1.0)
日向	なし
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

・水痘(2.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

・水痘(1.0)

🇯🇵 全国 2018 年第 40 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 40 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	318 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	90 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	5 例	A 型肝炎	12 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	11 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	74 例	レプトスピラ症	2 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	30 例
	急性弛緩性麻痺	4 例	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性肺炎球菌感染症	23 例	水痘（入院例）	7 例
	梅毒	81 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	4 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	215 例	風しん	135 例
	麻しん	9 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 110%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

RSウイルス感染症の報告数は4,965人(1.6)で前週比93%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約1.2倍である。富山県・高知県(各3.4)、香川県(3.3)からの報告が多く、年齢群別では2歳以下が全体の約9割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は2,635人(0.84)で前週比100%と横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.5)の約1.7倍である。香川県(2.9)、山形県(2.6)、鹿児島県(2.5)からの報告が多く、年齢群別では6か月～3歳が全体の約8割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2018年 第41週(10月08日～10月14日)

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	87	55	8	28	2	7		3	2	4	1
	定点あたり	2.49	1.57	0.89	4.67	0.50	2.33	0.00	0.75	2.00	1.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	35	18	3		7	3	2			3	
	定点あたり	1.00	0.51	0.33	0.00	1.75	1.00	0.67	0.00	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	58	65	14	10	14		3	8	1	12	3
	定点あたり	1.66	1.86	1.56	1.67	3.50	0.00	1.00	2.00	1.00	3.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	321	301	59	75	4	34	46	27	5	40	11
	定点あたり	9.17	8.60	6.56	12.50	1.00	11.33	15.33	6.75	5.00	10.00	11.00
水痘	報告数	16	14	3	1		1	7	1	1		
	定点あたり	0.46	0.40	0.33	0.17	0.00	0.33	2.33	0.25	1.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	31	44	35	3			3			3	
	定点あたり	0.89	1.26	3.89	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.75	0.00
伝染性紅斑	報告数	5	4	3			1					
	定点あたり	0.14	0.11	0.33	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	20	25	7	5	2		3	3		2	3
	定点あたり	0.57	0.71	0.78	0.83	0.50	0.00	1.00	0.75	0.00	0.50	3.00
ヘルパンギーナ	報告数	46	37	10	6	13	4		2			2
	定点あたり	1.31	1.06	1.11	1.00	3.25	1.33	0.00	0.50	0.00	0.00	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	18	13		6	2	4	1				
	定点あたり	0.51	0.37	0.00	1.00	0.50	1.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	31	23	17	3	3						
	定点あたり	5.17	3.83	5.67	1.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～41週)

2類感染症	結核	133例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	36例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	1例	デング熱	1例	日本紅斑熱	16例
	レジオネラ症	5例	レプトスピラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9例
	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例(1)
	後天性免疫不全症候群	6例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	21例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	3例	播種性クリプトコックス症	4例
	破傷風	4例	百日咳	255例(3)	風しん	3例(1)

()内は今週届出分、再掲

月報告対象疾患の発生動向 <2018年9月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

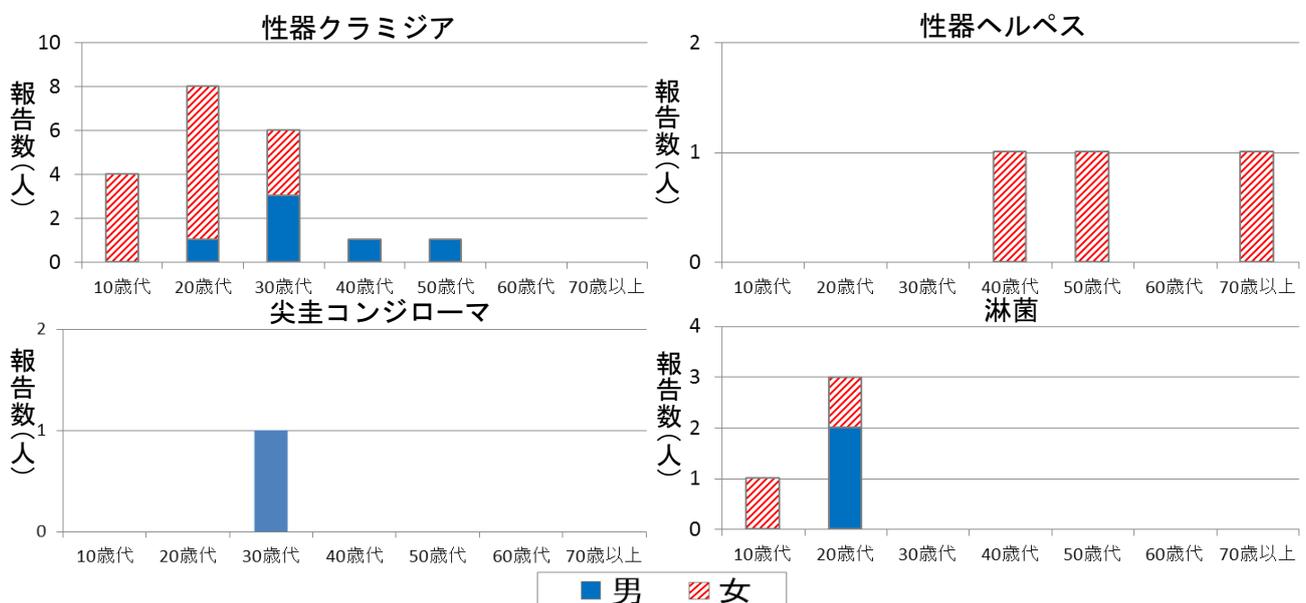
定点医療機関からの報告総数は28人(2.2)で、前月比90%と減少した。また、昨年9月(2.9)の74%である。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で、前月の約1.2倍、昨年9月とほぼ同率である。
20～30歳代が全体の7割を占めている。(男性6人・女性14人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月及び昨年9月の約0.4倍である。(女性3人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の0.5倍、昨年8月と同率である。(男性1人)
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月と同率、昨年8月の約0.4倍である。(男性2人・女性2人)

【全国】 定点医療機関総数：984

定点医療機関からの報告総数は3,976人(4.0)で、前月比91%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,162人(2.2)で前月比95%、性器ヘルペスウイルス感染症679人(0.69)で前月比85%、尖圭コンジローマ428人(0.43)で前月比86%、淋菌感染症707人(0.72)で前月比88%である。



□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は13人(1.9)で、前月比68%と減少した。また、昨年9月(3.9)の48%である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数12人(1.7)で、前月の約0.7倍、昨年9月の約0.5倍である。70歳以上が全体の約6割を占めている。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月及び昨年9月と同率である。年齢は70歳以上である。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,427人(3.0)で、前月比91%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,273人(2.7)で前月比91%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症141人(0.29)で前月比97%、薬剤耐性緑膿菌感染症13人(0.03)で前月比150%である。